

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	放課後等デイサービス きららジュニア			
○保護者評価実施期間	2024年4月1日		～	2025年3月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30人	(回答者数)	19人
○従業者評価実施期間	2024年4月1日		～	2025年3月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数)	7人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月24日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもは安心感をもって通所していると保護者の方達に言ってもらえていること。	事業所が安心出来る環境になるよう、まずは意識を心がけている。 子供や保護者の方が不安に感じた際は、お話をする機会を設けて、一緒にどう対応するか考えて対応している。	スピード感を持って対応する。 職員間で意識の向上、質の向上を目指す。
2	活動プログラムが固定化しないように支援していること。	活動が固定化してしまわないよう心掛け、最新の情報を見つ新しい内容を職員で相談して考えている。	内容がより充実し、本人の満足度と成長に繋がる内容を更に考えて行っていく。
3	活動した内容・活動を行う内容を毎月発信していること。	保護者の方が事業所でどんな活動をしたか、自身のこどもが楽しんでいる姿が分かるよう意識して活動報告をしている。 また、翌日にどんな活動あるか分かるようにして、参加したい思ってもらえる内容を考えている。	SNSの使用をして、更に手軽に保護者の方が活動内容や、こどもの様子が知れるように行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会や家族会を行うこと。	運営時間内では、今年度は事業所の支援の充実に向けたため。 運営時間外で日程設定が難しかったため。	保護者会や家族会は、保護者の方と実施についてお話しする機会があり、事業所と家族双方のためになる取り組みと感ずるため、検討していく。
2	地域と交流すること。	事業所内での支援の充実に向けたため、公園や公共施設での関り以外は今年度は難しかったため。	事業所としても地域との交流は大切と感じているため、公園以外の場所や機会にどうやって交流が持てるか、検討していく。
3	こどもや家族からの相談の対応について。	職員のスキル不足や、保護者の方の意見を尊重したいため考える時間が長く、スピーディーに対応が出来なかったため。	外部研修や法人内での学びを得て、一人一人のスキルアップの向上を目指す。また、事業所内での職員のチームワークの向上を目指す。